

臨床研究に関する公開情報

2015年12月から2016年11月に当院で経腔分娩された皆様へ

平成29年〇月〇日

当院では、安全安楽なお産に向けて、産婦さんの姿勢や骨盤の様子を判断して「姿勢と体位を整える助産ケア」を学び実践できるように取り組んでいます。そこで、この助産ケアの効果を検証することにしました。具体的には、助産師が経腔分娩時のケアを提供した産婦さんのカルテより得た情報を分析して、現在行われているケアの評価を行います。本研究により産婦さんの姿勢と体位を整えるケアの効果が明らかになれば、このようなケアが実施できる助産師を育成することを通して、よりよいお産への支援につながると思い取り組んでおります。

下記の研究は、当院倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる方に新たにご負担をおかけすることはありません。また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、研究協力者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡ください。解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名：「分娩時の異常減少を目指した「姿勢と体位を整える助産ケア」の効果検証
—分娩時間及び分娩時出血量の変化に焦点をあてて—」

研究期間：2017年7月（研究倫理委員会承認後）から2018年3月までを予定しています。

対象：2015年12月から2016年11月に兵庫県立尼崎総合医療センターにて経腔分娩された方

研究目的：産婦の姿勢・骨盤の査定力と対応力強化のために開発した、産婦の姿勢・骨盤の査定に基づいた「姿勢と体位を整える助産ケア」の効果として、分娩時間および分娩時出血量の変化を検証すること

方法：診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報は、①分娩時妊娠週数、②分娩所要時間、③分娩時出血量、④誘発分娩・促進分娩・吸引分娩・鉗子分娩等医療介入の有無、⑤新生児体重およびアプガールスコア、⑥基本属性（年齢、初経産の別、身長、非妊時体重、妊娠時最終体重、基礎疾患）です。研究成果は学会、および論文にて公表します。

個人情報：臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

※本研究は、平成29年度兵庫県立大学特別研究助成金に申請中です。これにあたり、私的に得る経済的利益はなく、開示すべき利益相反はありません。

本研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない場合の意思表示方法
下記いずれかの方法でご連絡ください。

電話：06-6401-7078
FAX：06-6401-7078
e-mail： 〇〇〇@〇〇〇

担当者：槻木（つきのき）、菅野（すがの）

研究代表者：槻木直子^{※1}

共同研究者：金英仙^{※2}、原田紀子^{※3}、松田加代子^{※3}、吉原理恵^{※3}、西村智恵美^{※3}、菅野峰子^{※3}
相澤千絵^{※4}、宮川幸代^{※4}、工藤美子^{※4}、箕浦洋子^{※3}、山本あい子^{※5}

※1 兵庫県立大学地域ケア開発研究所周産期ケア研究センター、※2 小坂産病院、※3 兵庫県立尼崎総合医療センター

※4 兵庫県立大学看護学部、※5 兵庫県立大学地域ケア開発研究所

問い合わせ先：兵庫県立尼崎総合医療センター3階 周産期ケア研究センター

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77

TEL/FAX：06-6401-7078（直通）、e-mail： 〇〇〇@〇〇〇

研究責任者：槻木直子